平成30年度社会福祉法人彩虹会事業報告

【法人本部事業】

Ⅰ．理事会並びに評議員会の開催

◆評議員会（全２回）

|  |  |
| --- | --- |
| 審　議　事　項 | 審議結果 |
| １　「平成29年度事業報告並びに収支決算(案)」に関する件 | 承　認 |
| ２　「平成31年度事業計画並びに収支予算（案）」に関する件 | 承　認 |

◆理事会（全３回）

|  |  |
| --- | --- |
| 審　議　事　項 | 審議結果 |
| １　「平成29年度事業報告並びに収支決算（案）」に関する件 | 承　認 |
| １　「評議員選任・解任委員会の開催」に関する件 | 承　認 |
| １　 「評議員推薦候補者」に関する件 | 承　認 |
| １　「定時評議委員会の開催と審議事項」に関する件 | 承　認 |
| ２　「評議員会の開催と招集」に関する件 | 承　認 |
| ３　「平成31年度事業計画並びに収支予算（案）」に関する件 | 承　認 |
| ３　「職員給与規程（新）」に関する件 | 承　認 |
| ３　「定時評議委員会の開催と審議事項」に関する件 | 承　認 |

＊左端数字は開催回

**【社会福祉事業】**

**第二種社会福祉事業**

Ⅰ．障がい者サポートセンター「にじの家」（多機能型「就労継続支援Ｂ型・生活介護」の設置経営

* 利用者の状況に充分な配慮をし、ニーズの把握に努め、障害の種別・重軽にかかわらず利用受け入れを図り、一人ひとりが自分のペースで見通しを持ちながら、主体的に意欲的に活動に取り組めるよう努め、次の事業を行った。

１．就労継続支援Ｂ型事業（利用定員１０名・契約者数3名）

特別栽培米コシヒカリの栽培及び販売

耕作面積６４，０９６㎡　収穫量１４，４４０㎏

本年度もお米の売れ行きは好調で、前年度より更に46万円売上がアップ。

また、より一層進む猛暑への対応準備としてコシヒカリ以外に新しく「彩の絆」の栽培に着手。商品認知度はまだまだだが、翌年の種籾も自前で更新し、更なる品質アップを目指していく。

【販売委託先】

　●マミマート栗橋店・杉戸店・白岡店・白岡西店・蓮田山ノ内店・**桶川坂田店**

　●生鮮市場TOP春日部店・北上尾店

　●セキ薬品（加須・久喜本町店）

　●フードスクエアカスミ大利根店

　＊**太字**は新規

　【定期納品先】

　●児童発達支援センターはばたき園（羽生市）

　●児童発達支援センターいずみ園（伊奈町）

　●麦酒屋るぷりん（銀座）

　●馳走 啐啄（銀座）ミシュラン東京掲載店

　「販売出店」

　◆第24回ホットハートフェスティバル（モラージュ菖蒲）6/15～17

　◆第25回ホットハートフェスティバル（モラージュ菖蒲）1/18～20

２．生活介護事業（定員15名・契約者数15名）

　下記のメニューを利用者が飽きないよう日課に組み込み、声を出し楽しく体を動かすことで利用者自身の活動力向上を図りつつ、食事・排泄・着替え等の生活活動を支援した。

　ＤＶＤ・音楽鑑賞・軽運動ゲーム各種・ＴＶゲーム・カラオケ・散歩

　アルミ缶潰し・織物・新聞裂き

３．利用者体験・地域交流事業等

1. 福祉講座の実施

　障害者サポートフレンドリーボランティア体験講座

（加須市社会福祉協議会大利根支所との共催）

　当該年度は7月31日に茨城県大洗水族館アクアミュージアムにて実施

1. 催事事業

◆10/15「人権フェスタ」参加・出店（加須市）

◆10/3　「共愛会秋祭り」参加・出店

　　◆11/23 「福祉ふれあい広場」参加出店（加須市社会福祉協議会大利根支所主催）

③利用者交流・体験事業

◇ 6/11 「加須市障がい者スポーツ交流大会」参加（加須市主催）

　＊その他

　　〇 4/6 「花見」生活介護利用メンバー

　　〇 4/8　 「花見」就労B利用メンバー

　　〇 11/25 「BBQ」ともしびにて

　　〇 12/21　クリスマス会・忘年会

　　〇 1/25　 新年会

４　実習受入れ及び見学・相談

久喜特別支援学校・騎西特別支援学校・宮代特別支援学校・境特別支援学校の在校生、保護者、学校関係者等及び在宅障がい者の施設見学や各種相談並びに実習の受け入れを積極的に行った。

◆施設見学者数　12名

◆現場実習受入　 久喜特別支援学校高等部3年生　2名

　　　　　　　　 境特別支援学校高等部3年生　　3名

Ⅱ．共同生活介護　グループホーム太陽の設置運営（定員10名・現員9名）

　利用者に対し、その自立と社会活動への参加を促進する観点から、出来る限り居宅に近い環境を整えることに努め、地域や家族との結び付きを重視し、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場にたち、個々の能力や特性などに即した適切な介護と支援を行えるよう事業を行った。

＊日常生活能力の維持・向上

＊食事の介護・援助

＊掃除・洗濯・買い物・着脱衣等の日常生活関連動作の介護・支援

＊移動支援・排泄支援・入浴支援等

＊本人の安心と安全の確保（主として行動障害）

＊緊急時の応急対策

＊相談援助・日常生活指導

＊地域生活のルールと適切な人間関係に関する支援

＊相談・日常生活指導・会話などを通じたコミュニケーション支援

＊余暇活動支援

Ⅲ．相談支援事業　利根北障がい者相談支援センター花笑み

　障がいのある方一人ひとりの状況やニーズの把握に努め、医療機関や各福祉サービス或いは行政等との連携を図り、より良い生活の実現を図る事を目的に本年度１２月１日から下記のサービスを開始し、加須市のみならず羽生市・行田市・久喜市・古河市更には熊谷市在住者からも多くの相談が寄せられ着実に成果を出している。

ただし、さいたま市や春日部市等のサービス（特に就労系）を利用される方も多く、モニタリング等の実施の為の訪問時間が増える等の課題が生じてきている。

* 一般相談支援　（主として地域移行支援）
* 特定相談支援　（主としてサービス等利用計画の作成）
* 障害児相談支援（児童福祉領域ので相談支援）

＊利用契約者数115名（平成31年3月31日現在）

Ⅳ.　職員研修等

　サービスの質並びに利用者満足度の向上を目的に、事業所外研修に参加するとともに、事業所内研修を実施し、職員のスキルアップを図り、送迎・自動車運行・利用者移動支援・事故等緊急時への対応に関する業務手順書を策定し、より良い福祉サービスの提供に努めた。

* 事業所外研修
* 個別支援計画作成に関する研修　　　　　　　1名
* 虐待防止に関する県研修　　　　　　　　　　1名
* コミュニケーションスキル向上に関する研修　1名
* サービス管理責任者研修　　　　　　　　　　1名
* 事業所内研修
* 虐待防止と権利擁護に関する研修
* 個別支援計画の作成に関する研修
* 緊急時対応に関する研修

平成31年3月31日

社会福祉法人　彩虹会

理事長　　齊藤　貞子